

# 本庁舎建設が本格化

新年度予算は、健全財政を維持し本庁舎建設や防災行政無線整備など優先順位の高い新規事業と既存施策を見直しながら編成を行いました。  
 本年度は、次の4つの重点目標に沿って、子どもから高齢者まで安心して生活できる施策に取り組みます。

## 4つの重点目標

1. 健全財政維持のための財源確保と経費削減
2. 安心・安全で住んでよかった住環境確保
3. 産業の活性化と魅力あるまちづくり
4. 郷土の再認識と協働による市民の一体感づくり

# 一般会計は、370億5000万円

市民生活の全体をまかなう「一般会計」の予算総額は、370億5000万円となりました。昨年と比較し4.3%、15億3000万円の増となりました。

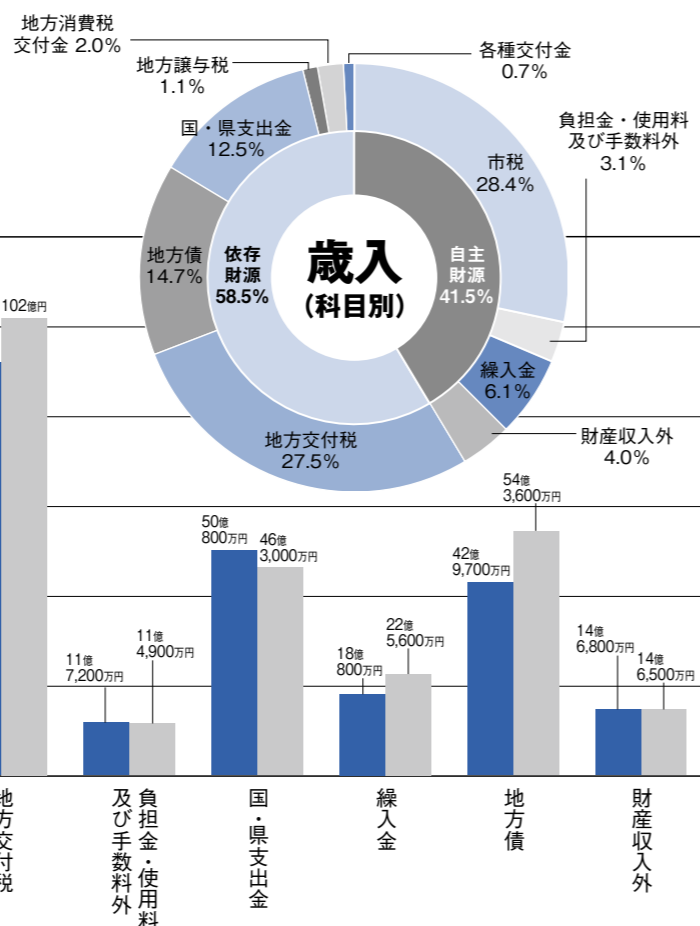
本年度は、本庁舎建設が本格的に始まることから一般会計は23年度を上回る大型の当初予算となりました。このほかの事業については、税収の落ち込みや将来を見据えた財政事情を考慮し、継続事業を行いながら事業の優先順位をつけて事業の一部廃止や見直しを行いました。子どもから高齢者まで、安心・安全な暮らしができる市民生活につながるよう編成しました。

## 歳入

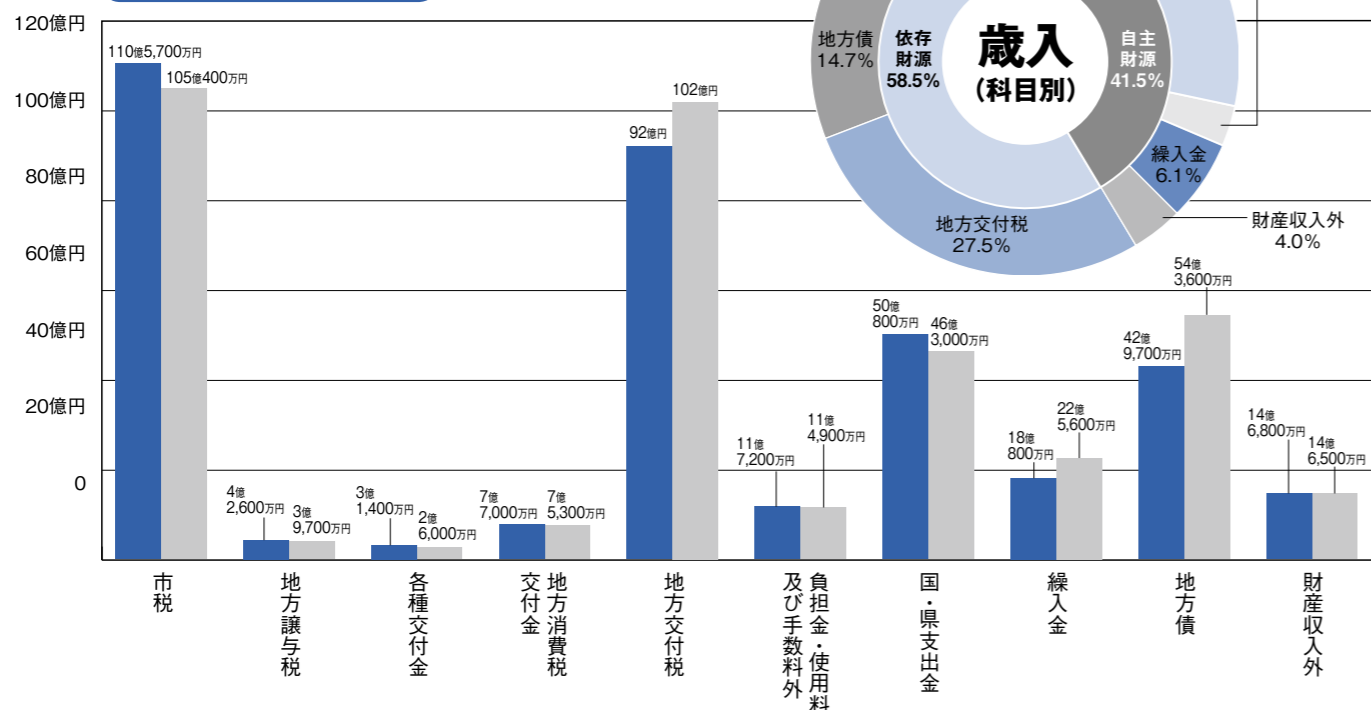
歳入では、景気の低迷による個人市民税や固定資産税の落ち込みを考慮し、全体の約3分の1を占

める市税を5.0%減の105億424万5000円と見込みました。地方交付税は、10.9%増の102億円を計上し、地方債（借金）は54億3560万円を見込みました。  
 また、基金は、それぞれの目的に沿った事業の充当や財源不足を補うために財政調整基金の取り崩しなどで22億5432万1000円を計上しています。市税の収入減については、これら交付税や基金の繰り入れなどで対応します。

平成24年度 一般会計歳入構成比率



## 歳入予算の増減



平成24年度安曇野市各会計予算額一覧

会計名	平成24年度	平成23年度	対前年度比較	対前年度比率 %
一般会計	37,050,000	35,520,000	1,530,000	4.3
特別会計				
同和地区住宅新築資金等貸付事業	579	1,332	△ 753	△ 56.5
国民健康保険	9,950,000	9,182,276	767,724	8.4
後期高齢者医療	882,107	827,086	55,021	6.7
介護保険	7,926,941	7,226,022	700,919	9.7
下水道事業	4,362,805	4,334,135	28,670	0.7
農業集落排水事業	191,740	186,005	5,735	3.1
上川手山林財産区	2,897	2,919	△ 22	△ 0.8
北の沢山林財産区	966	5,097	△ 4,131	△ 81.0
有明山林財産区	1,061	960	101	10.5
富士尾沢山林財産区	909	738	171	23.2
穂高山林財産区	874	709	165	23.3
産業団地造成事業	152,447	263,470	△ 111,023	△ 42.1
特別会計合計	23,473,326	22,030,749	1,442,577	6.5
総計 (一般会計 + 特別会計)	60,523,326	57,550,749	2,972,577	5.2
企業会計				
水道事業				
収益的収入	1,985,918	1,998,305	△ 12,387	△ 0.6
収益的支出	1,868,002	1,892,569	△ 24,567	△ 1.3
資本的収入	141,899	125,371	16,528	13.2
資本的支出	1,044,297	913,117	131,180	14.4
市営宿舎事業				
収益的収入	14,763	27,561	△ 12,798	△ 46.4
収益的支出	32,045	41,657	△ 9,612	△ 23.1
資本的収入	0	0	0	
資本的支出	2,230	4,064	△ 1,834	△ 45.1